

熊谷不惑倶楽部

島川隆様

先日は熊谷での試合ありがとうございました。7月14日パープルドリーム会を発足させました。パープルドリーム会の名前の由来は、「75歳以上のプレイヤーが将来東西対抗戦などに参加することを夢見る。」というものです（添付資料参照）。現在、群惑、武惑、房惑、神惑、不惑のメンバーが参加しています。徐々に増やしていきたいと思っています。熊谷不惑倶楽部でも75歳以上の方で東西対抗戦に出場を目指している方を紹介していただけますか。メールアドレスを教えてください。また、複数の場合、代表者を決めていただけますか。お忙しい中、よろしく申し上げます。

パープルドリーム会幹事

伊藤二郎

## パープルドリーム会発会式議事メモ

1. 日時 2019年7月14日(日)12時～15時
2. 場所 KRC(関東ラグビー倶楽部)会議室
3. 参加者  
不惑倶楽部 21名(紫10名)、武惑2名、神惑1名(紫1名)、房惑3名(2名紫)  
計 27名(紫13名)
4. 紫パン東西対抗戦籾田キャプテンの音頭で乾杯をした。
5. パープルドリーム会発足の経緯について伊藤二郎幹事より説明があった。
  - (1) パープルドリーム会の名前の由来
    - ・75歳以上のプレーヤーが将来東西対抗戦などに参加することを夢見る。
  - (2) 紫パン東西対抗戦の状況
    - ・4月6日花園ラグビー場で第6回紫パン東西対抗が開催された。
    - ・東軍は26名で、FW 17名(91歳1名)、BK 9名(89歳1名、88歳2名)であった。バックスのメンバーが少なく、高年齢化が進んでいるのが課題であった。
    - ・チームメンバーのお互いが知らないでプレーしており、事前に顔を知り、プレーを知ることが課題である。
    - ・来年開催予定の九州では遠方で参加者が少ないことが想定される。
  - (3) パープルドリーム会発足の意義
    - ・これらの課題を解決するため、パープルドリーム会を発足させ、練習や情報交換により、メンバーの確認、相互疎通を図り、参加しやすいようにする。
  - (4) 75歳以上の試合の増加
    - ・首都圏赤パン大会及び不惑倶楽部と神惑戦で実施された。
    - ・今後、関東甲信越大会、東日本大会、菅平不惑交流大会、近隣クラブ戦などでの実施が期待される。

菅平不惑交流大会では(来年以降)紫パン・黄パン対釜石戦が中止され、黄パン以上の試合を増加する。また、75歳以上のメンバーによる試合も増加する。

  - (4) パープルドリーム会会長は小嶋泰氏(75歳)が選出された。
4. 小嶋泰パープルドリーム会会長と不惑倶楽部理事長の挨拶があった。
5. 全員の自己紹介がされた。
7. 平島氏締めめの挨拶があった。